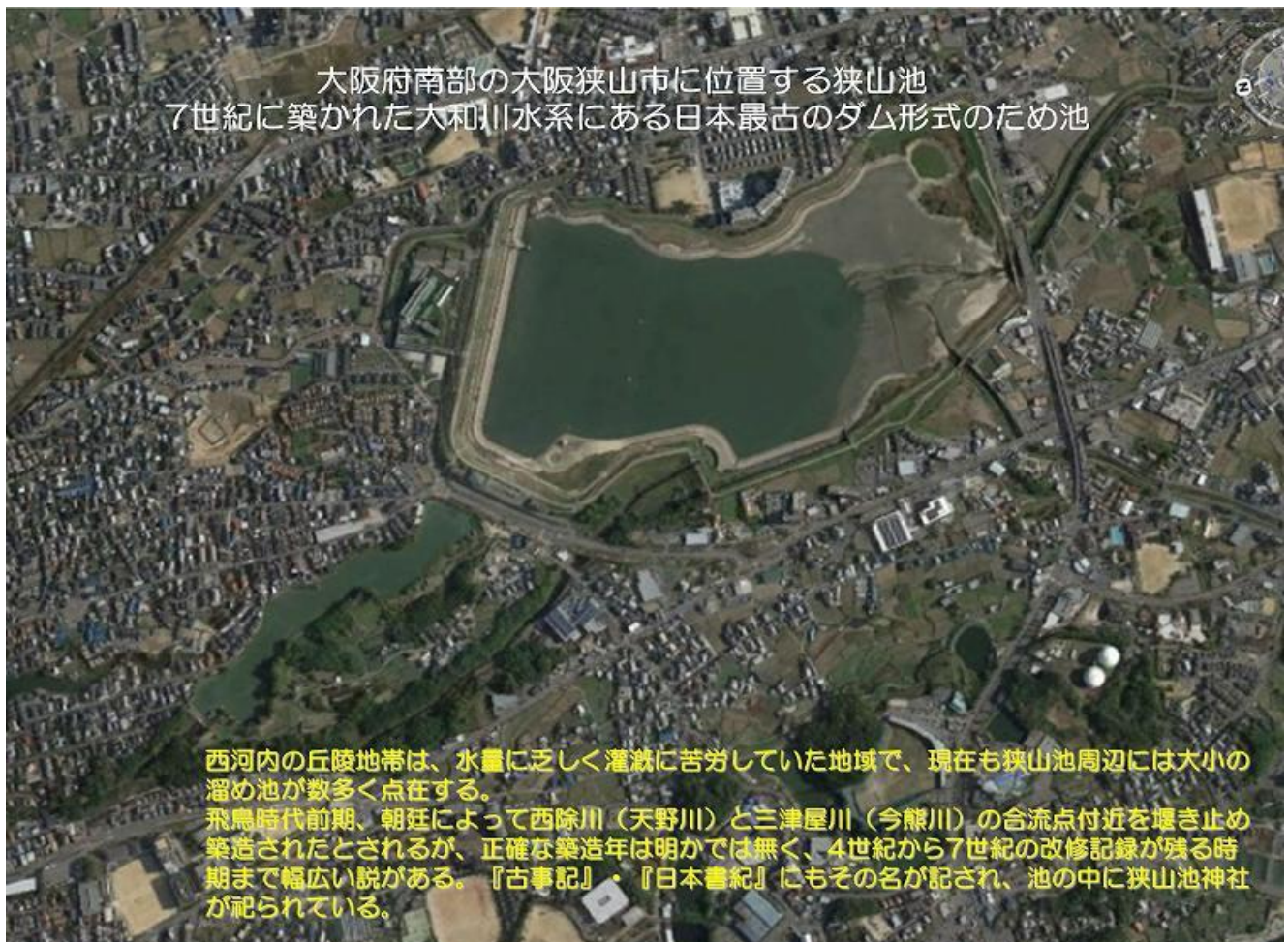


7世紀に築かれた大和川水系にある日本最古のダム形式のため池

狭山池(大阪府南部の大阪狭山市)を久しぶりにたずねました 2017.3.14.



南側の西除川（天野川）と三津屋川（今熊川）の合流点付近を眺める
狭山池東側堤より 2017.3.14.



大阪府南部の大阪狭山市に位置する狭山池
7世紀に築かれた大和川水系にある日本最古のダム形式のため池

西河内の丘陵地帯は、水量に乏しく灌漑に苦労していた地域で、現在も狭山池周辺には大小の溜め池が数多く点在する。
飛鳥時代前期、朝廷によって西除川（天野川）と三津屋川（今熊川）の合流点付近を堰き止め築造されたとされるが、正確な築造年は明かでは無く、4世紀から7世紀の改修記録が残る時期まで幅広い説がある。『古事記』・『日本書紀』にもその名が記され、池の中に狭山池神社が祀られている。

■ 古代土木技術のモニュメント 約1500年前に作られた巨大なダム湖 狭山池
その堰が今もしっかりと堤を支えています

和鉄の道・Ironroad 2008.2.5. 狭山池の訪問記 by Mutsu Nakanishi より

<http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/h2002.htm>



現在の狭山池と巨大な堰 2008.1.31. 写真奥に葛城・金剛の山並み

2008年1月31日古代史の仲間と「発掘された日本列島2007」展が開催されている近つ飛鳥博物館とともに狭山池博物館 弥生文化博物館の3つの博物館をめぐるバスツアー。

びっくりしたのは 狭山博物館。 以前から一度行きたいと思いながら行けなかった狭山池。約1500年前に高さ10数メートル築かれた堤がその中に埋め込まれた樋とともにそっくりそのまま残っている。しかも、この堰はほとんど粘土とっていい細かい土をつき固めて、幾重も積み重ねて作られている。

「土だけで、よう 持つものだ」とびっくり。もっとも それはそれで、きわめて緻密な技術が使われていると学芸員の人から教えてもらいました。



狭山博物館に展示されている堰の実物断面

狭山池は、池の東奥遠くに葛城・金剛山を眺める丘陵地の二つの谷の間を流れる川の間をせき止めて作られた大阪狭山市にある日本最古のダム式ため池。7世紀前半(616年か?)に築造されたとされ、『古事記』・『日本書紀』にもその名が記されている。

8世紀、行基13世紀、重源による改修など幾度となく改修が重ねられ、平成の大改修でダム化するとともに、池の周囲は公園として整備されている。

1988年 平成の大改修時に樋や堤体の構造が、詳しく調査され、東樋の年輪年代測定結果から、7世紀前半につくられた日本最古のため池であることがわかった。

また堤体の盛り土が幾層にも積まれ、その1部に植物層を含む層があることが判明し、中国や朝鮮から伝わった敷葉工法(しきはこうほう/葉のついた枝を土留めに使う工法)が用いられていることがわかった。

建築物や出土した遺物に どうしても、古来からの日本人の知恵・技術を見がちですが、一度 ぜひ出かけていってみたい価値のある古代の土木技術のモニュメントです。



7世紀 二つの谷の間を堰きとめ築かれたダム湖
その堰や樋の構造がそっくりそのまま約1500年を経て残っている



平成の大改修前の狭山池



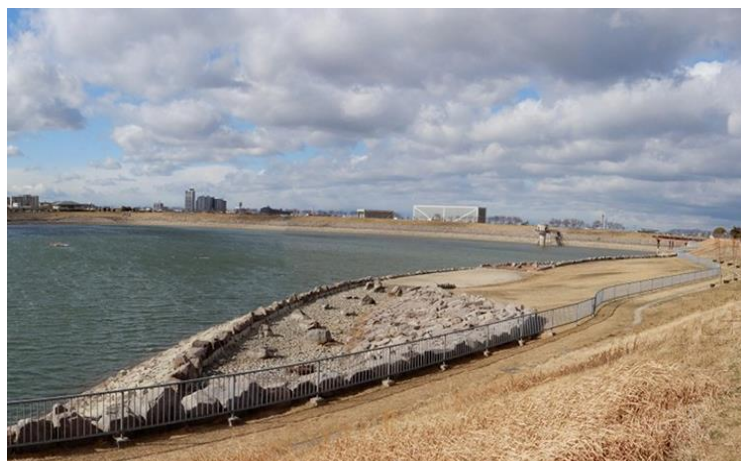
平成の大改修後の狭山池

和鉄の道・Ironroad 2008.2.5. 狭山池の訪問記 by Mutsu Nakanishi より

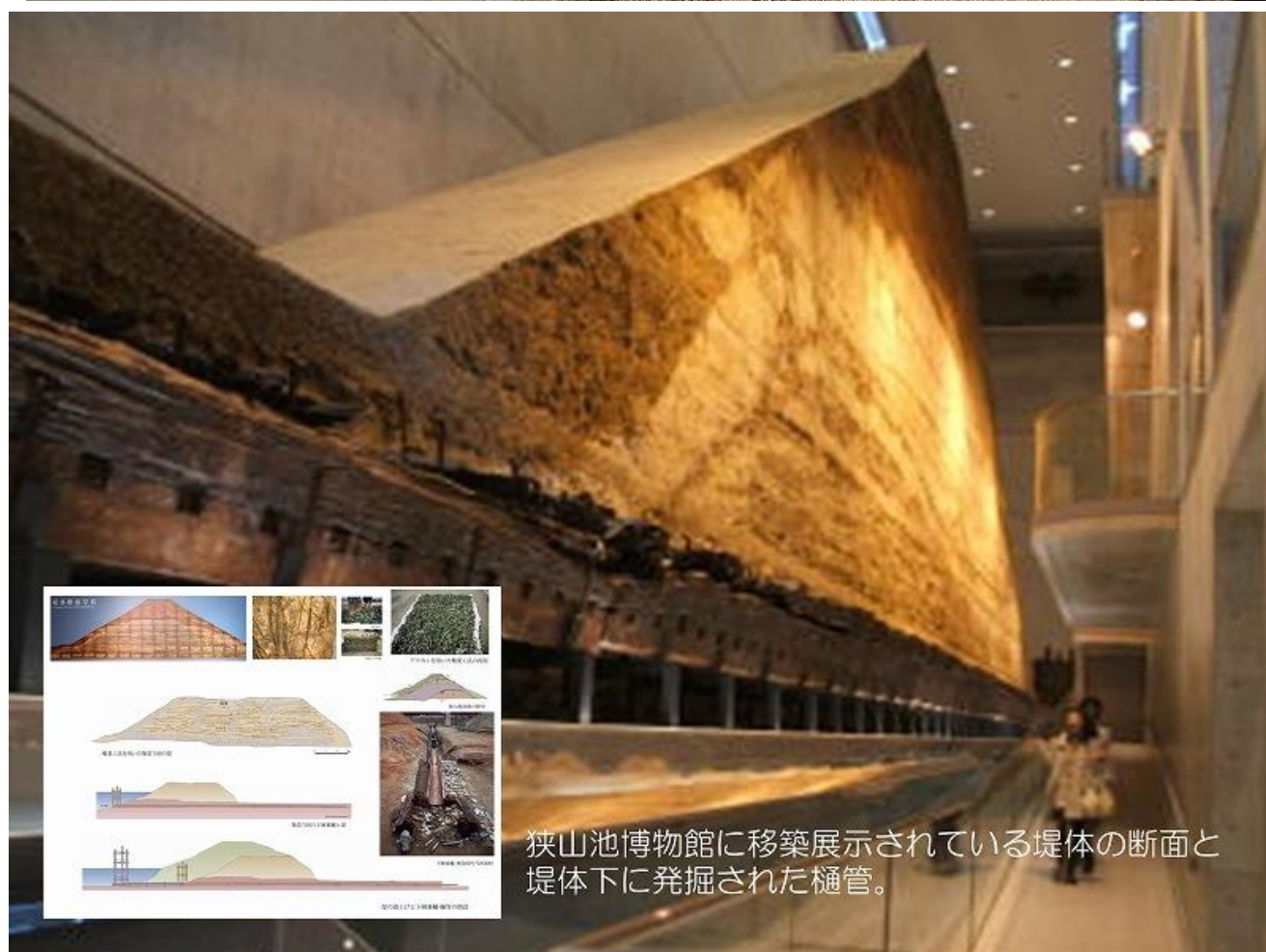
<http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/h2002.htm>

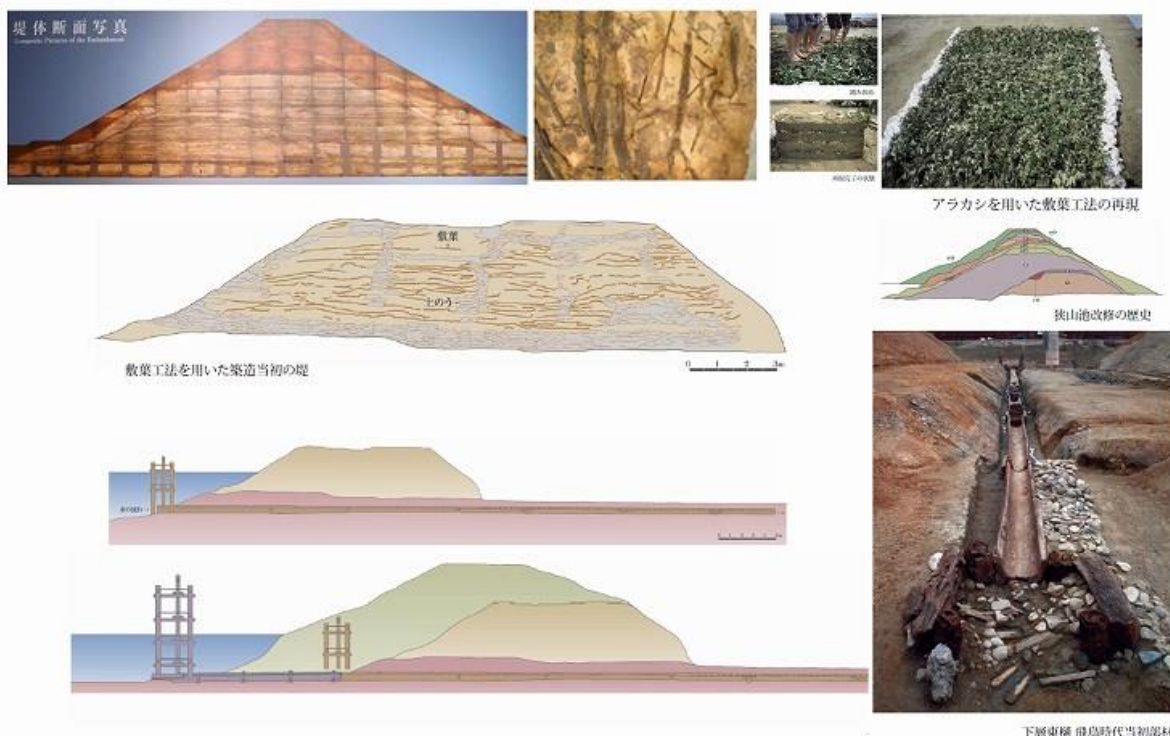


左: 南 西除川（天野川）と三津屋川（今熊川）の合流点付近 & 右: 狭山池東側堤より 狭山池北側を眺め



左: 狭山池西側 池の中に狭山池神社 右: 狭山池北側中央 狭山博物館を眺める





敷葉工法で築かれた古代の狭山池堤体の断面概略と発掘された下層東樋

【参考資料】

第187回河内文化を語る会資料植田隆司「飛鳥時代から生き続ける狭山池」平成27年11月19日（木）
http://www.japanriver.or.jp/kataru/kataru_report/pdf/no187_resume.pdf

7世紀に築かれた大和川水系にある日本最古のダム形式のため池 2017.3.14. 狭山池(大阪府南部の大阪狭山市) walk

< 参考資料 >

第187回河内文化を語る会資料平成27年11月19日（木）

植田隆司「飛鳥時代から生き続ける狭山池」

http://www.japanriver.or.jp/kataru/kataru_report/pdf/no187_resume.pdf

< 和鉄の道・Iron Road by Mutsu Nakanishi >

2008. 2. 5. 狭山池の訪問記

<http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/h2002.htm>

